

組織

会長	美濃 俊幸	(横手南中学校)
副会長	藤井 志津子	(浅舞小学校)
事業部長	高橋 輝樹	(横手明峰中学校)
監事	吉沢 理	(十文字中学校)
監事	千田 圭子	(十文字小学校)
事務局	佐藤 潤	(横手南中学校)
研究部	柴田 緩子	(横手北中学校)

主な事業

夏季研修会（秋田県立近代美術館）
令和3年8月19日（木）
「カラクリ展」
「美のしくみ～工芸セレクションほか～」

横手市児童生徒美術展
(横手駅前交流センターY2プラザ)
令和3年12月10日（金）～13日（月）

秋田県児童生徒美術展地区審査
(横手駅前交流センターY2プラザ)
令和3年12月13日（月）



審査の様子



横手市児童生徒美術展会場

研究会の記録

○ 夏季研修会

・夏休み前半は各校とも面談が行われるため、夏季休業終盤の開催となった。スケジュール的なこともあったが、参加者が大変少なかったのが、残念であった。展示会の鑑賞は有意義な時間を過ごすことができた。それに加え、参加者間では図工・美術におけるICT活用方法についてや、中学校での評価の観点についての意見交換などを行うことができた点もよかった。

〈参加者から〉

・子どもたちが興味をもてる内容の鑑賞だったので、生徒の視点で作品を見たり、教材として生かせる部分を探したりと、多面的な切り口で作品と向き合えてよかった。

○ 第46回横手市児童生徒美術展・秋田県児童生徒美術展地区審査

・昨年度は小・中あわせて389点の出品だったが、今年は375点であった。実際、数的にはそれほど減少ではないが、作品数が減ったというのが展示作業を終えての印象であった。県児童生徒美術展の審査は、作品を通して複数の先生で話し合いながら進めるため、作品の見方について絶好の研修機会となった。横手市では県美術展への出品料が予算化されていないため、費用がネックとなって、出品できない学校があったが、昨年度今年度は、出品料がかからないため、参加校が増えた。今後に向けて、市児童生徒美術展の出品規定の見直しや、賞状の扱いなど、検討課題は幾つかある。会員で話し合い、今後のよりよい美術展の在り方を考えていきたい。